



Mineral & 金属資源  
Metal Resources

大間知 慎一郎

金属資源本部

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

## 基本戦略

01 競争力ある資源を確保し、  
安定供給に貢献

02 顧客やパートナーの  
ニーズに応える

03 経済発展と環境保全の  
バランス



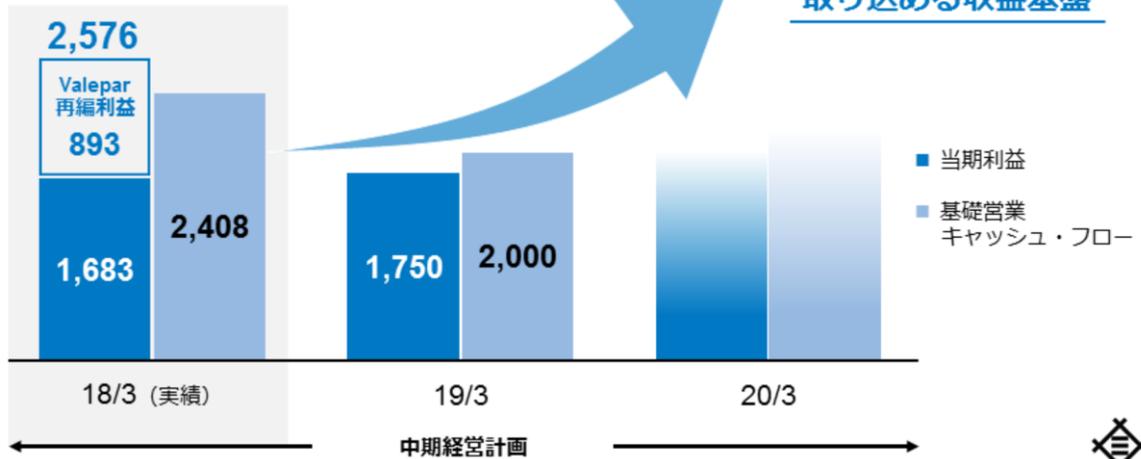
競争力のある資源確保、そして、その安定供給に貢献する。それにより、需要の伸びが鈍化した場合でも一定規模の収益を確保し、アップサイドも取り込める収益基盤を確立する。

顧客パートナーのニーズに応え、ビジネスを創出する。バリューチェーンの中で、原料の開発と供給から、加工・販売・回収・リサイクルと、幅広い事業を展開し、そして社会発展にも貢献する。

また、操業の効率化やリサイクル事業の推進により、環境負荷の低減にも取り組む。

## 定量目標／実績 当期利益／基礎営業キャッシュ・フロー

単位：億円



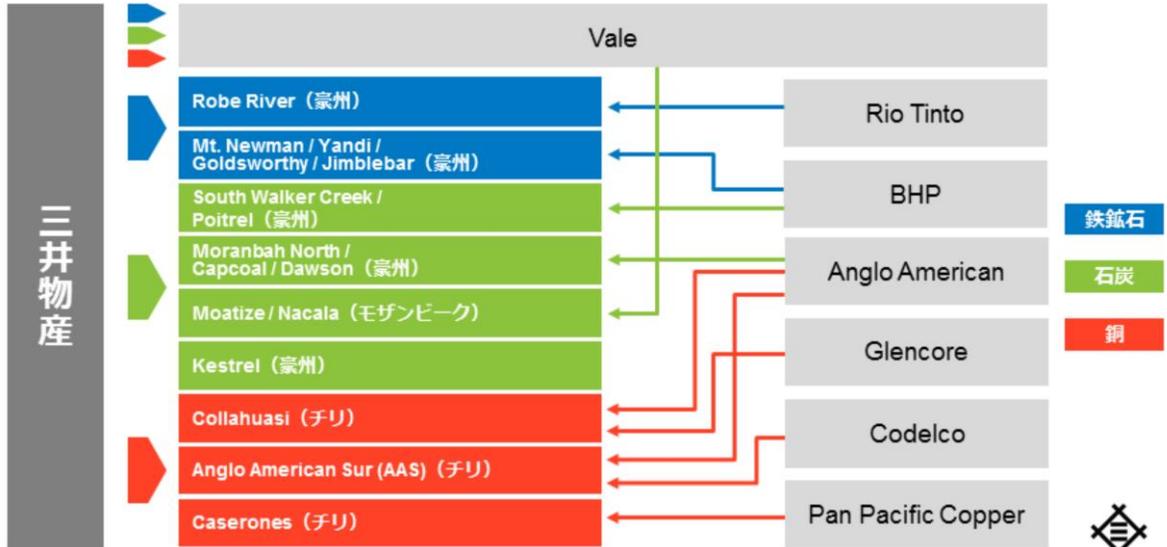
Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

3



2018年3月期は、Valepar再編による評価益やカセロネス減損の一過性の要因を除いても、期首計画の当期利益1,500億円、基礎営業キャッシュフロー2,100億円を上回る結果となった。

主要事業一覧



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



当社が参画している鉄鉱石・石炭・銅の主な事業。豪州・ブラジル・チリ・モザンビークを中心に、様々なパートナーと事業展開している。

## 基本施策の進捗状況



### 競争力の更なる強化

- ◆ 順調な持分生産量積み増し
- ◆ Valepar再編による優良資産積み増し
- ◆ 西豪州鉄鉱石プロジェクトに於ける操業自動化推進



### 新規案件の果実化、資産ポートフォリオの良質化

- ◆ Moatize炭鉱/Nacalaインフラ事業の立上げ
- ◆ 豪州資産の最適化検討

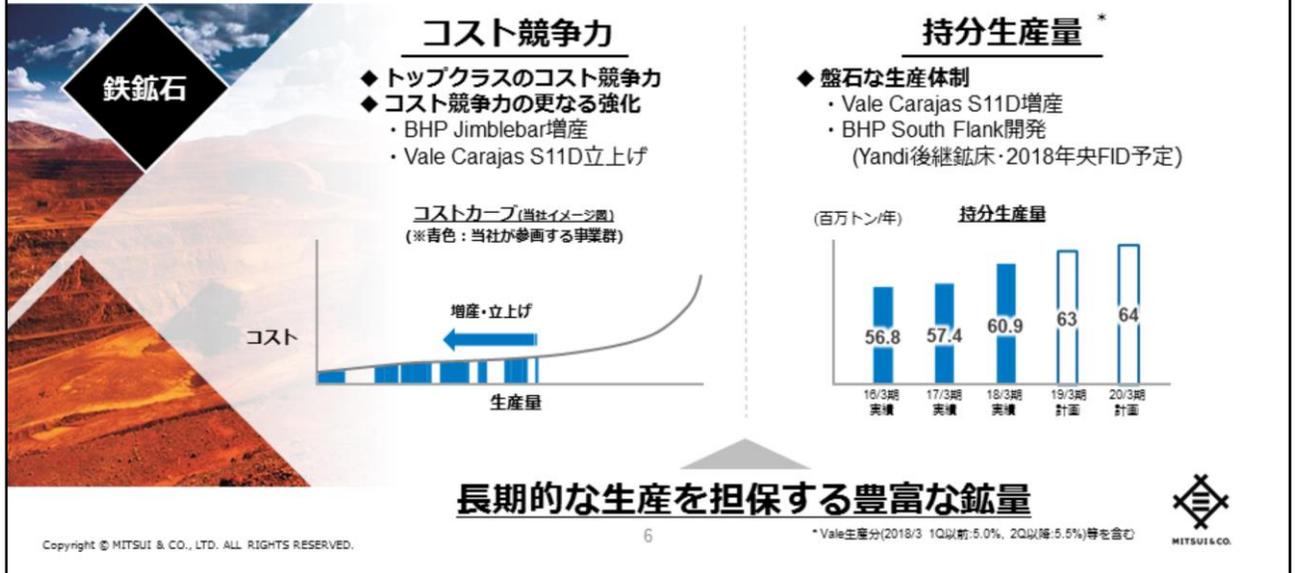


### 既存事業の良質化、優良権益の拡充

- ◆ Collahuasi買増し
- ◆ AAS・Caserones操業改善

2018年3月期のアクションプランにつき、鉄鉱石・石炭・銅にてそれぞれ着実な進捗有り。

## 競争優位性 1 鉄鉱石・石炭・銅による、三位一体の収益基盤



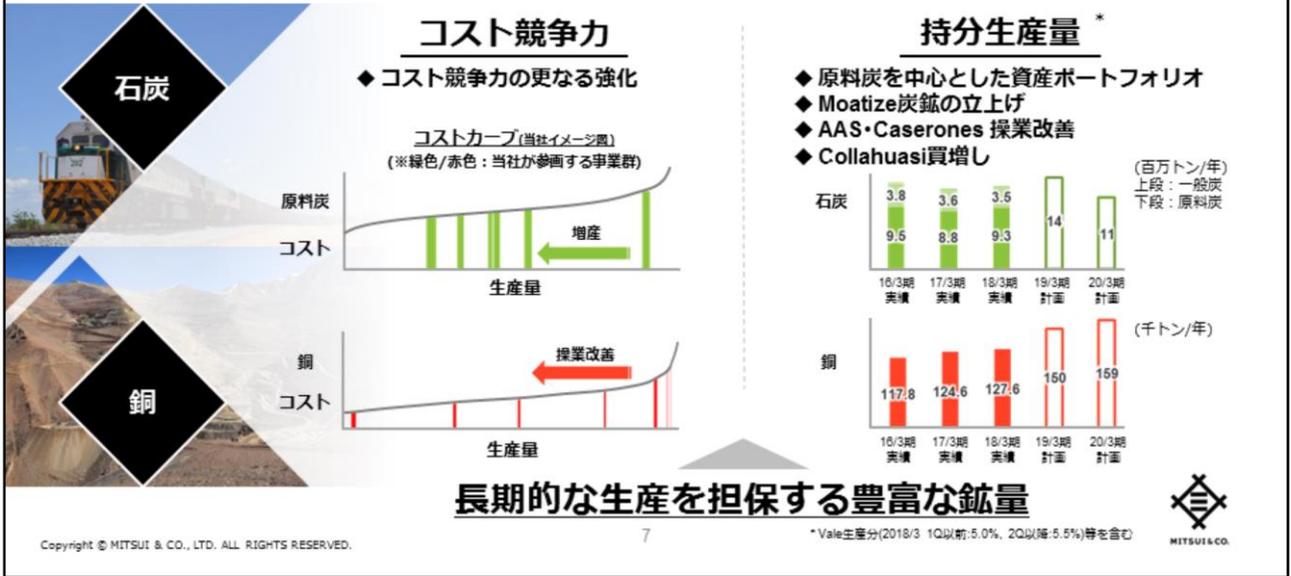
当社事業は既に世界トップクラスのコスト競争力である。ジンプルバーやカラジャスS11Dの増産は、更なる競争力の強化に繋がる。

持分生産量は、カラジャスS11Dに加え、豪州のSouth Flank開発（投資決定前）\*による積み増しを見込む。

鉱量に関しては、長期に亘る生産を可能とする埋蔵量を確保済み。

\*2018年6月15日に投資決定を公表

**競争優位性 1 鉄鉱石・石炭・銅による、三位一体の収益基盤**

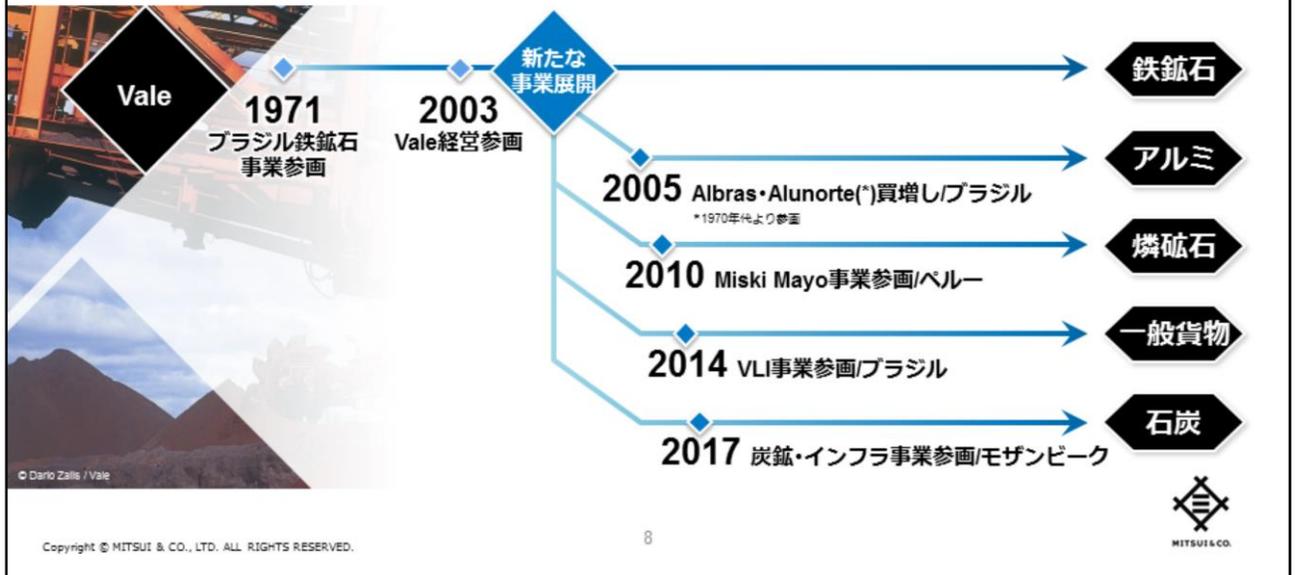


石炭は、豪州石炭事業の採掘計画の最適化や、Moatize炭鉱のランプアップを通じて、コスト競争力の強化を図る。

銅は、需給の逼迫が予想されており、需要増加にも然りと応える体制を作り上げる。

## 競争優位性 2

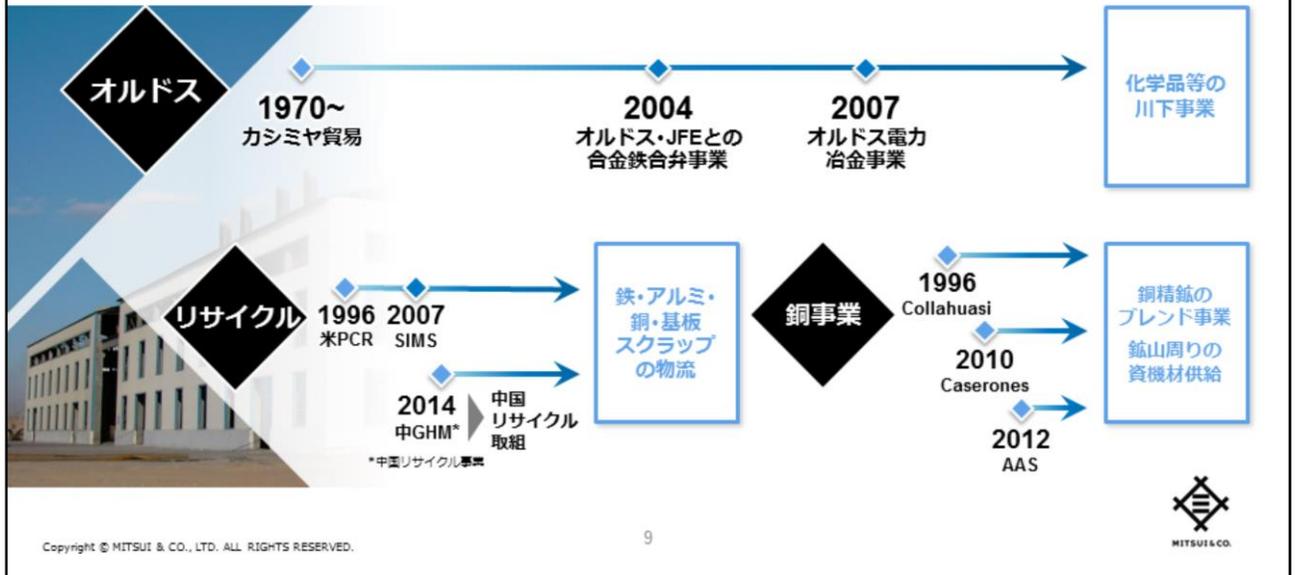
金属資源分野において培った当社機能、信用、ネットワーク、物流  
そこから創り出されるビジネスチャンス（事業投資）



1970年代にブラジル鉄鉱石事業に参画後、様々なステークホルダーと長期に亘る信頼関係を築いてきた。その結果、2003年の当社Vale経営参画に至った。そのValeとは、金属資源以外でも、燐鉱石や一般貨物の輸送等で協業を実現し、これらの協業はブラジル以外の国にも広がっている。

## 競争優位性 2

金属資源分野において培った当社機能、信用、ネットワーク、物流  
そこから創り出されるビジネスチャンス（事業投資）



オールドスとの関係は、1970年代にカシミアの貿易で始まった。その後、石炭・発電・合金鉄・化学品と、多様な事業を展開している。

オールドス以外にも、米国や中国を中心としたリサイクル事業への取組みや、チリでの銅を中心とした物流や周辺事業もある。

このように、様々な商品、そして様々な国や地域で、様々なパートナーと、新たなビジネスを作ることが出来る土台を築いている。

## この1年の環境変化と当社取組



中国において、環境政策が予想以上に大きく変化している。具体的には、違法操業の一扫や操業の効率化などである。その結果、高品位な原料に対するニーズが高まると共に、国内で発生するスクラップ活用の重要性が増している。こうした動向を補足し、需給の見極めを行い、資産ポートフォリオの組換え・強化を実施していく。

低炭素社会への取組みが加速している。当社は、国や地域毎に求められる最適なエネルギーミックスを考え、経済発展と環境保全の双方に貢献したい。

電気自動車導入の動きが加速している。ニッケルやコバルトといった電池原料確保の重要性が増している。自動車・電池メーカーと連携し、電池原料のバリューチェーン構築に貢献したい。

## 基本戦略

01 競争力ある資源を確保し、  
安定供給に貢献

02 顧客やパートナーの  
ニーズに応える

03 経済発展と環境保全の  
バランス



中国の成長に支えられた資源のスーパーサイクルは一巡致したが、アジアを中心として、金属資源の需要は増加する。

金属資源の事業は息の長いもので、基本戦略に基づく施策を着実に進めていくことで、ステークホルダーの皆様からの期待に応えたい。